

農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

育苗管理は、天候の変化に応じて適切な温度管理やかん水を徹底し、健苗育成に努めましょう。田植えは、植付本数や植付深さ、田植え後の水管理を適切に実施し、初期分けつの発生を促しましょう。

1 育苗期後半の管理 ～温度管理に注意し、換気を徹底する～

かん水 午前中（早朝）に苗箱の底まで十分浸透するようにムラなくかけましょう。苗の成長や天候に応じて1日1～2回程度を目安としますが、かん水過多は根張りの不良やカビの発生につながるので、注意しましょう。

温度管理

日中：ハウス内の温度は20～25℃を目標に、こまめに換気をしましょう。
晴天日だけでなく、曇りの日でも早朝から換気をしてください。

夜間：搬出後1週間ごろからは夜間も換気を行い、外気に慣らしましょう。

※夜間の気温が5℃以下になると予想される場合は、ハウスを閉めましょう。

2 代かき

○ 代かきから田植えまでの日数が長いと、雑草の生育が進んでしまうため、十分な除草効果が得られない場合があります。代かきは田植えの3～4日前に計画的に行いましょう。

○ 代かきは少なめの水で行い、稲わら等をしっかりすき込みましょう。また、代かき後の濁り水は用水へ流さないようにしましょう。

○ 代かき時に基肥一発肥料などの被覆殻が流出しないよう注意しましょう。

3 苗箱施薬

○ 散布時期や量を守って使用して下さい。

○ 水稻育苗後に、ハウス内で野菜を栽培する場合は、ハウスから苗を搬出してから、苗箱施薬剤を施用しましょう。

区分	使用農薬	散布量	施薬時期
一般	ブイゲットパディート粒剤	50g/箱	田植3日前～ 移植当日
紋枯病 対策	ヨーバルプライムEV箱粒剤	50～100※g/箱	播種時(覆土前)～ 移植当日

※ 密苗の場合は苗箱数に応じて、10a 当たり 1kg になるよう調整しましょう。

～春の農作業安全運動展開中（3月1日～5月31日）～
「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策（シートベルトとヘルメットの着用）」

4 田植え

- 田植時期（コシヒカリ）
5月15日を中心（山手は5月10日頃から）

- 植付株数
穂数確保のため、70株/坪植えを徹底する。

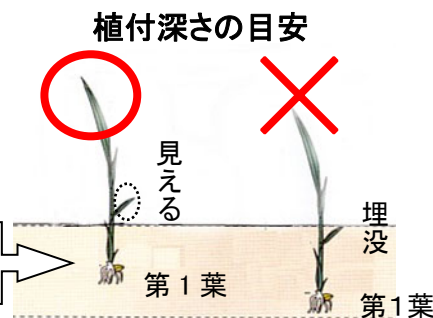
- 植付本数：3～4本／株

- 植付深さ：3cm程度

- 基肥（コシヒカリ）：土壌条件に応じ、適正な基肥量を厳守する

施肥体系	土壌条件	肥料名	施用量（kg/10a）
一発体系	沖積砂壤土	有機Jコート コシヒカリ3号	35～40（側条）
	洪積		35（側条）
分施体系	沖積砂壤土	基肥206	35～40（側条）
	洪積		30～35（側条）

※田植え前に適正な基肥量となるよう施肥機の繰り出し量を調整しましょう。



5 田植え後の水管理

- 田植え後3日程度は、苗が水没しない程度のやや深水にして、植え傷みを防ぎましょう。低温や強風時もやや深水で苗を保護してください。
- 活着後は、日中止水、浅水管理で初期分げつの発生を促しましょう。

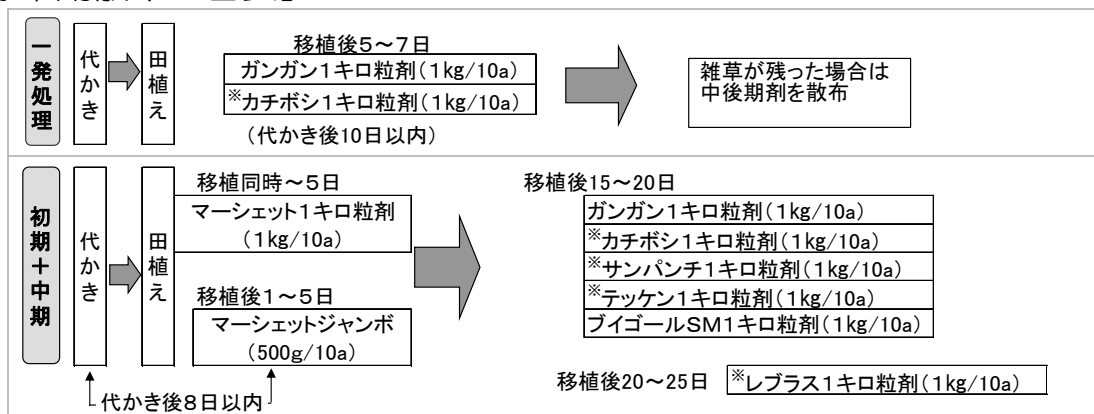
6 水田雑草防除

【効果的な除草剤の使い方】

- 代かきから田植えまでの期間は3～4日程度。
- 除草剤の散布は遅れずに計画的に行う。
- 移植同時処理剤は、処理後、ゆるやかに入水する。
- 田面が露出しないよう、5cm程度の深水状態で散布する。
- 除草剤散布後7日間は止め水とし、落水やかけ流しをしない。
- 田面の均平や畦畔からの漏水防止に留意し、除草効果を持続させるようにする。

農薬は使用基準を守って使用し、栽培履歴をしっかりと記帳しましょう！

【除草剤散布の目安】



※印は「やまだわら」には使用不可、周辺ほ場への飛散や漏水にも注意！